

# サステナブルビジネスへの 取り組み

2020年9月8日

ソリューションプロダクツ部 サステナブルビジネス室

# 三菱UFJフィナンシャルグループのサステナブルビジネスの取り組み

## サステナブルビジネス室の設立目的

- お客様のビジネスにおける環境・社会課題への対応を積極的に支援し、持続的な成長を後押し
- MUFGのポータル・ハブ組織として、サステナブル領域に関する情報の集約化を図ると共に、MUFG一体となったお客様のビジネスの支援を目指す

## サステナブルビジネス室

### ビジネス推進ライン

主なテーマ	ESGファイナンス
	環境・エネルギー（太陽光、水力、バイオマス、地熱、次世代エネルギー）
	スマートシティ、蓄電池、送配電 等
	新領域（水素関連、カーボンリサイクル 等）
	GCF (Green Climate Fund) 関連投資



### 環境社会リスク管理ライン

主なテーマ	赤道原則に基づくレビュー
	MUFG環境・社会ポリシーフレームワークへの対応
	国際金融団体サステナブルファイナンスWG対応
	MUFG評判リスク対応
	MUFGグリーンボンド起債サポート

### グリーン／ソーシャル／サステナビリティボンド

- 2020年6月6日に新型コロナウイルス感染症対応資金用途を含むサステナビリティボンド発行
- 関連ボンド<sup>1</sup>の発行総額 3,200百万米ドル相当

## サステナブルファイナンス設定・進捗状況

サステナブルファイナンス目標を設定  
2030年度までに**累計20兆円**  
(うち、環境分野8兆円、社会分野12兆円)

2019年度の実績は3.7兆円と**順調に進捗**

## 事例ご紹介

### サステナビリティ・リンク・ローンの組成（本邦初）

- お客様のサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット(SPT)を設定し、金利などの貸付条件とSPTのパフォーマンスを連動させる金融商品

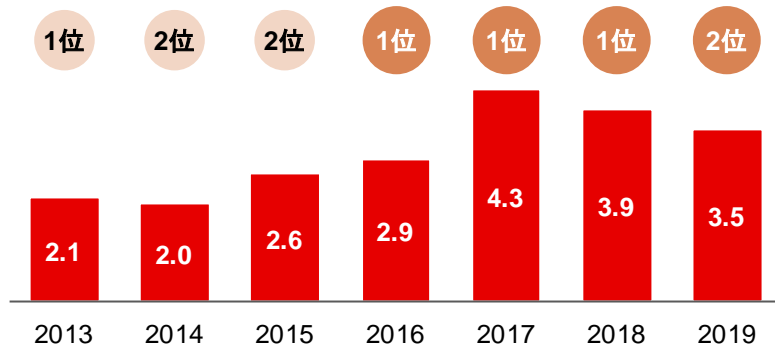
(注) 1. MUFGは2020年6月現在、グリーンボンド7明細、ソーシャルボンド1明細、サステナビリティボンド1明細発行済

# 新興国における取り組み

- 再生可能エネルギー分野においてプロジェクトファイナンスを中心に世界トップレベルを維持する一方で、新興国でのファイナンス供与はリスクも高く、実績は限定的
- パートナーバンクとの協働、国際協力銀行・日本貿易保険等の公的機関によるリスク緩和等を通してビジネスチャンスをつかえる

## これまでの実績

再生可能エネルギー事業のファイナンスアレンジにおいて世界トップレベルを維持<sup>1</sup>  
(10億米ドル)



(出所) Bloomberg New Energy Finance ASSET FINANCE / Lead arrangers LEAGUE TABLE

## インドネシア ランタウデダップ地熱発電

- 南スマトラ州の98.4MWの地熱発電所の建設、操業案件  
(融資総額約539百万米ドル)
- 国際協力銀行、アジア開発銀行、3メガが協調融資、民間部分は日本貿易保険が付保

## サステナブル投資戦略の推進

- 経済性に加え、環境・社会インパクトを投資判断に利用する新たなファンド投資戦略を推進
- 1号案件として再エネ施設を運用資産とするファンドに出資

(出所) <https://www.jbic.go.jp/ja/information/press/press-2017/0328-010746.html>

## パートナーバンクとのネットワーク

Krungsriが女性起業家支援を目的としたジェンダー債券を発行  
世界銀行グループの国際金融公社とドイツ開発金融公社が引受

**Krungsri**  
1945年設立、タイ国内  
第5位の資産規模を有する  
商業銀行

**VietinBank**  
1988年設立、ベトナム国内  
第2位の資産規模を有する  
国有の商業銀行

**Bank Danamon**  
1956年設立、インドネシア  
第5位(収益・時価総額ベース)の  
商業銀行

**Security Bank**  
1951年設立、フィリピン民間  
第5位の資産規模を有する  
地場市場商業銀行

(注) 1. 再生可能エネルギー部門におけるプロジェクトファイナンス等のファイナンス

## GCF認証機関

### GCFの認証機関として2件組成(本邦初)

- GCFは、**途上国**の温室効果ガスの削減(緩和)と気候変動への対応(適応)への支援を目的として、国連気候変動枠組条約(UNFCCC)の下、設立された基金
- 認証機関(Accredited Entity)はGCFのエージェントとして、案件組成、GCF資金の管理、モニタリング等を行う

## 「Arbaro Fund」森林ファンド

- FSC(Forest Stewardship Council)認証を取得した森林事業に投資するファンドへの資金供与。エチオピア、ガーナ、ペルー等でサステナブルな木材の生産を通して、違法伐採の減少を目指す
- GCFによる25百万米ドルの出資の他、European Investment Bank等出資を募り、ファンドサイズは約200百万ドル

## チリ「Espejo de Tarapaca」

- 300MWの揚水力発電所及び561MWの太陽光発電所を建設・操業する事業
- 揚水発電と太陽光発電を組み合わせ、24時間安定したベースロード電源の提供を実現
- GCFによる60百万米ドルの出資は、民間セクターからのさらなる投資・融資を促し、総プロジェクトコスト約1,100百万米ドルの調達に寄与する



漁村への水供給も



海水を使った揚水力発電

---

本プレゼンテーションにより、貴社と株式会社三菱UFJ銀行の間には何ら委任その他の契約関係が発生するものではなく、当行が一切法的な義務・責任を負うものではありません。

本資料は信頼できると考えられる各種データに基づいて作成されていますが、当行はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示したすべての内容は、当行の現時点での判断を示しているに過ぎません。また、本資料に関連して生じた一切の損害については、当行は責任を負いません。その他専門的知識に係る問題については、必ず貴社の弁護士、税理士、公認会計士等の専門家にご相談の上ご確認下さい。

株式会社三菱UFJ銀行と三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社は別法人です。本資料は三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社が提供する商品・サービスについて説明するものではありません。また、株式会社三菱UFJ銀行の役職員は三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社が提供する商品・サービスの勧誘行為をすることはできません。

本資料は当行の著作物であり、著作権法により保護されております。当行の事前の承諾なく、本資料の全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

Copyright 2020 MUFG Bank, Ltd. All rights reserved.

〒100-8388 東京都千代田区丸の内2-7-1

株式会社 三菱UFJ銀行 ソリューションプロダクツ部

**当行が契約している指定紛争解決機関 一般社団法人 全国銀行協会**

連絡先 全国銀行協会相談室

- 電話番号: 0570-017109 または 03-5252-3772
- 受付時間: 月～金曜日9:00～17:00(祝日、12/31～1/3等を除く)

株式会社 三菱UFJ銀行 ソリューションプロダクツ部  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-7-1

[www.mufg.jp](http://www.mufg.jp)